



中国の中小企業育成について

北陸銀行 国際部
上海駐在員事務所
陳 潔

1. はじめに

毎年年末が近づくと経済新聞・ネット等では今年の経済状況を総括する記事が目立つようになります。今年の中国経済は決して良くはない状況でしたが、その中で「10の数字から2023年中国経済を見る」という記事から一部内容をご紹介します。

2. 「小巨人」企業

中国政府は、現在「専精特新」企業に様々な支援策を講じています。「専精特新」企業とは、「専門性、精密性、独自性、新規性」の4点で優れた特徴を持つ中小企業のことです。そのなかでも特に中国工業情報化部が選出した企業を「小巨人」企業と呼びます。

工業情報化部のデータによると、現在中国政府の支援の結果、累計9万8000社余りの「専精特新」中小企業、1万2000社余りの「小巨人」企業が誕生しているようです。

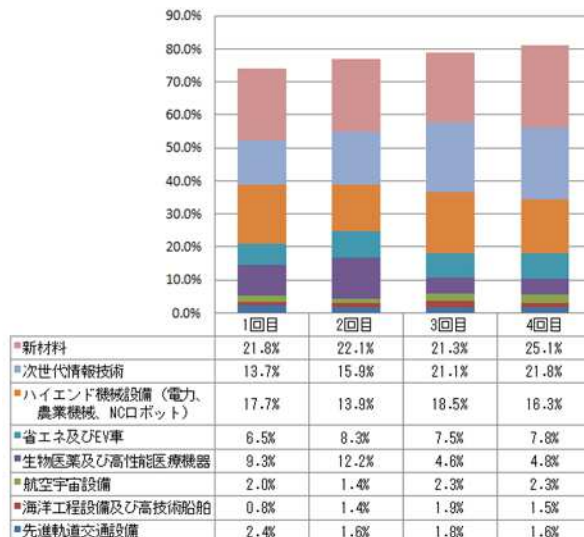
「小巨人」企業は累計20万件に上る特許を保有し、1万ヶ所以上の研究開発機関を設立するなど、近年「専精特新」の「小巨人」企業は中国におけるイノベーションの中心を担う存在となっています。

3. 製造強国政策

「中国製造2025^(※1)」の実施以来、製造業の生産レベルと影響力はいずれも大幅に向上しましたが、いくつかの重要な分野（例えば、新材料中の炭素繊維、フォトレジスト、半導体用スパッタリングターゲット、次世代情報技術中のチップなど）では依然として輸入に依存しなければならず、また不完全な産業連携、専門技術とハイエンド人材の不足、地域産業間の競争が深刻であるなどの様相を呈している状況です。

そうした中であって専精特新「小巨人」企業は「中国製造2025」の10大重点産業分野^(※2)に主に携わっており、規模は小さいものの中国の製造業の構造転換と技術革新に重要な意義を持っています。

《専精特新「小巨人」企業の重点産業分野シェア推移》



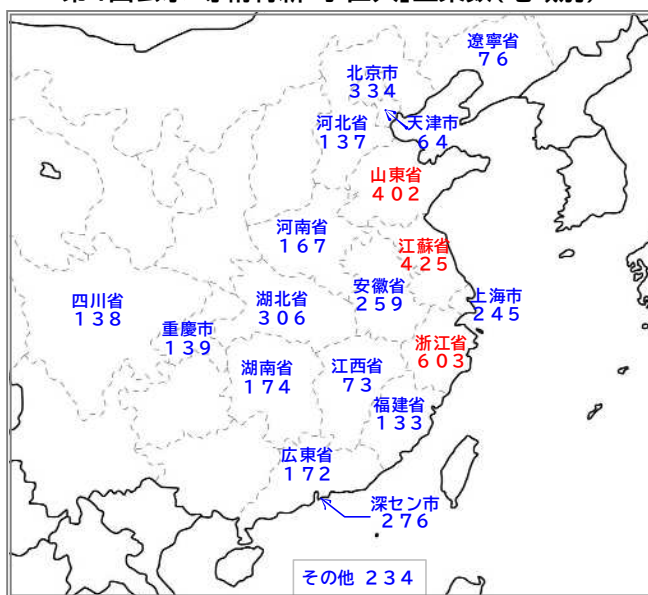
出所：36氪研究院

(※1) 中国国内産業を中国国内だけでなく、海外でも通用する産業として育成する「製造強国」の実現を目指すべく公表された計画。

(※2) 「中国製造2025」戦略により指定された、①新材料、②次世代情報技術、③ハイエンド機械設備、④省エネ及びEV、⑤生物医薬及び高性能医療機器、⑥航空宇宙設備、⑦海洋工程設備及び高技術船舶、⑧先進軌道交通設備、⑨電力設備、⑩農業機械の10分野。

下記の地域分布で見ると、第4回公示で選出された「小巨人」企業数の上位3地域は浙江省、江蘇省、山東省の東部沿岸地方が占めており、同地区が経済成長の中心地として企業の育成における優位性を持っていることを示しています。中部地方では湖北省や重慶市などの地区が発展を牽引しており、東北地方は製造業の基礎が十分な優位性を発揮しておらず、新旧の産業転換の面で依然として拡大余地があると共に課題が残っています。

《第4回公示 専精特新「小巨人」企業数(地域別)》



4. おわりに

これまで述べてきたように現在中小企業は中国のイノベーションを推進する重要な位置づけにあり、政府も中小企業の将来性を期待し、地域毎に様々な支援策を打ち出しています。地域によって内容は異なりますが、専精特新企業、専精特新「小巨人」企業等の称号は中小企業としても魅力が増しており、今後もますます多くの企業を引き付けていくと思われれます。日本の経済基盤を支える中小企業と同様、中国でも経済のすそ野拡大のために中小企業育成・支援を引き続き推進してほしいと期待しています。

<ご注意>

文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp